



鯉の宮坂・宮香本舗

恋だより

フリーダイヤル 0120-25-7188

fax 0238-21-2309

URL <http://www.koi-miyasaka.com>

■ 第23号 平成19年9月発行

■ 発行 鯉の宮坂・宮香本舗



紅紫色や白の小さく可憐な花を沢山付け、その下に川があれば川の上へ、ほろほろとこぼれるように散ってゆく萩の花。たとえ流されてゆくだけの定めでも、大きな自然の流れに身を委ね、抗うことなく素直に受け入れる。小さな花でありながら、その姿には自然の流れの中で生きる強さと美しさを感じる……

黛まどか

俳人。1962年神奈川県湯川原町に生まれる。本名円。主な著書に、句集「B面の夏」、「花ごころ」、「京都の恋」、「忘れ貝」、紀行集「ら・ら・ら」奥の細道、「星の放人」。

2009年NHK大河ドラマ
「天地人」直江兼続
史跡徹底ガイドシリーズ I

直江石堤

(米沢市大字赤崩)

兼続公は治水に心を配り、洪水から米沢城下を守るため最上川源流の松川に直江石堤(堤防)と蛇土手を築きました。この石堤も名前の通り、兼続が自ら赤崩山に上り、この地に堤防を築くことの重要性を見出し、築堤を計画したと伝えられています。現在1.2キロにわたる石堤が残り米沢市の史跡に指定されています。河川敷は直江石堤公園として開放されており、秋にはいも煮会の名所となり、市民の憩いの場所になっています。



ごあいさつ

皆様この夏はいかがお過ごしになりましたか。今年は例年になく猛暑で、中には体調をお崩しになられた方がいらっしゃるかもしれません。このところ米沢では朝夕が過ごし易く、秋の気配も見えて参りましたが、まだ関東以南では残暑が厳しいようですので、どうぞ体調にはお気を付けいただきたく存じます。またこの度平成16年に続き再度中越地震が起こってしまいました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、店頭・通信販売で行われましたお中元企画の「2007年夏終信」では、格別のお引き立てを賜りまして、誠にありがとうございました。しかしながら、すべてのお客様にご満足いただけませんでした。弊社の一番のメイン商品の「鯉甘煮」についても下記のようなお叱りをいただきました。

牛肉関係のいろんな新商品を開発販売しているうちに、本業の鯉料理がおろそかになったのではないかと、お盆期間中、本店で購入した甘煮は、身は柔らかく色の乗りも味も薄い、本来の宮坂の商品とは全く違うものだった。というお便りを頂戴しました。このお便りは、弊社の20年来のお客様からのもので、以下のようなご指導ご鞭撻も賜りました。あるスーパーの創業者の方が50年前に、幹部や社員の方によくお聞かせになった十二章の文言の一部だそうです。

- お客様を一度だませても二度はだませない
- 食べ終わったときが販売の完了
- 一人のお客様に誠実を尽くせ、これが野越え、山越えの精神である。

以上が商売の原点である。肝に銘じなさいという内容でした。これらの言葉は、今何んでも商売の本質を伝えているもので、読ませていただいた時にははっとさせられてしまいました。

さて、この度の具体的な原因は、甘煮の煮方が甘かったということですが、弊社の鯉甘煮の煮方はおよそ2時間、同業他社さんよ

り時間を掛けて、濃い味じっくり煮上げるのが特徴です。しかし甘煮に照りが付くのは最後の10分間で、その仕上げが決め手なのです。また季節やその時の鯉身質の違い、微妙な火加減の調整やタシの追い足しでがらりと製品の出来映えが変わります。それがプロの技というものなのですが、今回の製品は、おそらくその10分間のプロの技が抜けた手抜きと言われても仕方のないものであったことに他なりません。

また本来煮上げた段階で色が薄ければその時点で省く筈です。店頭には並べる段階でもチェックできた筈です。弊社では年間に約30万切の鯉甘煮を煮ておりますが、その中に上記のようなお客様に満足していただけなかった製品は、残念ながら間違いなく存在しました。実は年に1~2度同様のご注意を受けたことがございます。そのことを加味しますと、おそらく最大5割分200切は存在したかもしれません。確率にすると僅か0.067%ですが、実際はなんと200人のお客様がご不満を持たれたという、重大な問題となります。「一人のお客様に誠実を尽くせ」という教えに、全く反することになります。

いずれにせよこれらの製品が実際にお客様のお手元に届くとは、全くもって弊社の商品管理がずさんだったこと、お客様をだましてしまったことと変わりありません。これも全て社長である私の責任であることは明確であり、長年ご愛顧を賜りましたお客様のご期待や信頼を裏切ってしまったこと、十分反省致しております。そこでさそく同じ過ちを繰り返さないよう対策を立て、実行致しております。今後は今回の件を教訓に、一人一人のお客様に誠実をつくり、サービスや品質管理を徹底することが、お客様の信頼を得られる唯一の道であることを肝に銘じてゆく所存でございます。

一昨年立ち上げた「宮香本舗」(みやこうほんぽ)の牛肉惣菜などのレトルト製品関係は、おかげさまで首都圏や関西圏のマーケットで好調な売れ行きを示しております。安心安全は当たり前のごとで、味にトッププライオリティー(最優先順位)を置き、尚かつ原材料にこだわり、添加物、化学調味料などを使用しないというコンセプトが評価されています。しかしこれも先代から受け継がれた、弊社の「煮る・炊く」というコアコンピタンス(一番の得意分野)が基幹にあるからこそ可能なものであると思っております。その原点は紛れもなく「鯉の甘煮」であることに間違いありません。この度はもう一度商売や、ものづくりの原点をしっかりと勉強し直し、出直して行く所存です。まだまだ至らぬ点はかりでございりますが、どうかこれからもご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

末筆とはなりましたが、この米沢の地より皆様のご多幸を心よりお祈り致しております。

代表取締役 宮坂 宏

第2回

温泉パラダイス 米沢八湯

おのがわ 小野川温泉

〈旅館18軒〉

含硫化水素・塩化土類-弱食塩泉80.5℃
■ 神経痛、リュウマチ性疾患、創傷、皮膚病、
■ tel. 0238-32-2740 (旅館組合)

小野川町が旅の途中に発見し、病を癒したと伝えられる鬼面川添いに広がる温泉で夏は数万匹の源氏ホタル、平家ホタル、姫ホタルが河面を乱舞する。宿は公営施設を含め19軒あり、共同浴場も2軒、百年後まで考え、地域ぐるみで環境やまち作りに取り組んでいる。

しらぶ 白布温泉

〈ペンション1軒・旅館5軒・民宿1軒〉

含石膏硫化水素泉:56~60℃
■ 胃腸病、慢性呼吸器病、慢性皮膚病、
■ tel. 0238-55-2205 (旅館組合)

吾妻連峰の中腹の爽涼の地にあり大構川の渓谷がせまる景勝地で、夏は西吾妻山登山、高原散策、冬は天元台スキー場の基地となる。二百年以上前に建てられた伝統の旅館を中心に公営施設など計7軒がある。秋の紅葉のスケールはここが一番。

しんたかゆ 新高湯温泉

〈吾妻屋・冬期要問合せ〉

含硫黄、カルシウム、硫酸塩泉:56℃
■ リュウマチ性疾患、糖尿病、切傷、火傷、打身、婦人病、交通事故後遺症
■ tel. 0238-55-2031

標高1126m。背後には西吾妻山が屏風のようにそり立ち、前方はひらけて飯豊連峰が一望できます。文政4年(1821年)の発見といわれている。天元台行きのロープウェイの山間の中腹にある秘境で、露天風呂には、時折カモシカが顔を見せてくれる。露天風呂あり

米沢八湯とは?

吾妻連峰は、山形県と福島県との県境東西18km、南北12kmに位置する面積220平方キロメートルの那須火山帯では最大の火山群です。主峰は西吾妻山の標高2035mで東北では飯豊連峰に次ぐ高さです。登山は持ちろんのこと、植物の種類も豊富で、広い稜線には100メートルを越す高層湿原があり、初夏は花畑、置賜一円の広大な自然の大パノラマ目当てのトレッキング客が大勢訪れます。「米沢八湯」とはこの吾妻連峰のふもとにある、湯量たっぷり秘湯系の温泉群なのです。



おおだいら 大平温泉

滝見屋(11~4月冬期休業)

含石膏芒硝、硫化水素泉:52.7~63℃
■ 胃腸病、神経痛、リュウマチ、皮膚病等
■ tel. 0238-38-3360

吾妻山中の仙境にある一軒宿、標高1080m。最上川源流の柳沢渓谷にあり、春の新緑、秋の紅葉が素晴らしい。貞観2年(860年)に獵師が発見したと伝えられています。時折、野猿の群れが訪れる。俗界の音が皆無の山の一夜は、忘れられない思い出になるだろう。露天風呂あり。

なめがわ 滑川温泉

〈福島屋・冬期要問合せ〉

含芒硝・銩・硫化水素泉
及び単純硫化水素泉:52.7~63℃
■ リュウマチ、神経痛、創傷、胃腸病、婦人病等
■ tel. 090-3022-1189

兵子、大日岳に源を発する前川の渓流浴いに露天風呂があり、紅葉が織りなす景色は絶景といえる。近くには日本の滝百選に選ばれた、滑川大滝があり、雄大な景観を見せてくれる。自炊をすれば一泊2500円位で宿泊できる湯宿プランもあり。この昆布×した鯉の押し寿司は絶品。露天風呂あり。

ど、いつも50年以上前のお嬢様と一緒させていただけで、うら若き女との遭遇は未体験でした。もしそんなことが起こったら...それが15年前に、一度だけ実現しました。滑川温泉さんでの出来事ですが、ある昼下がり私が混浴露天風呂で一人汗を流していたところ、女子大生とおぼしき8名ほどのグループが、キャーキャーと嬌声を上げながらこちらに来るではありませんか!しかも大きなバスタオルいなくて、なんと普通の温泉タオルを胸から垂らしたあられもない御姿のまま。目が点になりながら、千載一遇のチャンスの到来と思わず、アタと口にしかけましたが、実際に私がとった行動とは...?頭に無せていたタオルを股間にあて、ぐるりと背中を向けてしまったのです。話しかけられるのもそこそこ、「お先に失礼ね!」と言うのが精一杯のポーズで、耳まで真っ赤にしなからずごさごと裸で退散してしまいました。せめてもう2人の同志がいたなら違う展開になったかも?今なら堂々とお話できたかも?15年経ってもクヤシ、クヤシ、混浴の思い出なのである。

ゆのさわ 湯の沢温泉

〈時の宿おね〉

単純温泉:26.5℃
■ 胃腸病、湿疹、神経痛、リュウマチ
■ 露天風呂あり ■ tel. 0238-35-2234

周りが羽黒川と唐松林に囲まれた閑静な一軒宿で、元禄時代(約300年前)以前に出た日本名湯鑑にも載っている古くからの名湯。昨年お2人専用の宿として全面リニューアルオープン。米沢牛を中心とした懐石料理やステーキの鉄板焼きが楽しめる。

ごしき 五色温泉

〈宗川旅館〉

含塩化土類重曹泉及びナトリウム・カルシウム-炭酸水素塩、塩化物泉:38~40℃
■ 慢性婦人病、胃腸病、虚弱児童、慢性皮膚病等
■ tel. 0238-34-2511

古くから子宝の湯として知られた山の湯治場で、周辺は山菜の宝庫となっている一軒宿。標高が800mあり、旅館からの朝日・蔵王の山並みの眺望は素晴らしい。屋根上に位置することから開放感あふれる雰囲気漂う。白鳳年間(1300年前)の発見といわれている。露天風呂あり

うばゆ 姥湯温泉

〈折形屋・11月~4月冬期休業〉

含硫化水素-酸性緑ばん泉:53℃
■ 慢性胃腸病、湿疹、神経痛等
■ tel. 0238-35-2633

標高1250mと、山形県では最高地にある一軒宿で、途中の道路はスイッチバックでの上り下りが必要なめずらしい道路。山肌に囲まれた露天風呂は、白濁したお湯なので、春から夏にかけてはエメラルドグリーン、秋には山の紅葉が水面に写り、宝石をちりばめたような美しさ。露天風呂あり。

鯉太郎 赤耳の湯の巻

男性のみなさん、混浴のお風呂で妙齡の女性と一緒したいなあなんて思われたことないですか?何回かそんな機会がありましたけど、いつも50年以上前のお嬢様と一緒させていただけで、うら若き女との遭遇は未体験でした。もしそんなことが起こったら...それが15年前に、一度だけ実現しました。滑川温泉さんでの出来事ですが、ある昼下がり私が混浴露天風呂で一人汗を流していたところ、女子大生とおぼしき8名ほどのグループが、キャーキャーと嬌声を上げながらこちらに来るではありませんか!しかも大きなバスタオルいなくて、なんと普通の温泉タオルを胸から垂らしたあられもない御姿のまま。目が点になりながら、千載一遇のチャンスの到来と思わず、アタと口にしかけましたが、実際に私がとった行動とは...?頭に無せていたタオルを股間にあて、ぐるりと背中を向けてしまったのです。話しかけられるのもそこそこ、「お先に失礼ね!」と言うのが精一杯のポーズで、耳まで真っ赤にしなからずごさごと裸で退散してしまいました。せめてもう2人の同志がいたなら違う展開になったかも?今なら堂々とお話できたかも?15年経ってもクヤシ、クヤシ、混浴の思い出なのである。

日米戦開戦を避けるために 必死のペンを振るった 栄光と悲劇の国際言論人

…… 河上 清



20世紀初めにアメリカに渡った河上は、アメリカを日本人に、日本をアメリカ人に知らせる仕事に身を捧げ、ワシントンポストなど代表的な新聞、雑誌に頻繁に寄稿するアメリカで最も著名なジャーナリストの一人になった。ところが日米開戦より彼が築き上げた世界は崩れ去った。日系移民排斥から大東亜戦争に至る半世紀の日米間の嵐に立ち向かい、疑惑と敵意の対象となりながらも何とか祖国を救おうとして果たせず、そのために自らの名声をも犠牲にした悲劇の人生でもあった。

清はこの物語のプロローグの場所であるアメリカに、震えるような憧れを燃やしたのである。その作者の味に自分を重ね、いつかはアメリカを訪れようと決心したのであった。清は英語との出会い、そして15歳の時に読んだこの一冊が自分の人生のコースを大きく変えた、と語っている。

東京の放立ち

清は興譲館で学び、その後もJ.S.ミルの「自由論」など英語の原書を読み漁りアメリカへの夢を馳せていった。その夢の実現の第一歩は、東京で学問をすることであった。米沢は山国でありながら、驚くほどの海軍将校を生み出している。興譲館からは、山下源太郎、南雲忠一、左近司政三の3人の海軍大将、中将16名、少将12名の海軍幹部を始め、大佐以下の階級でも傑出した数の師弟を海軍兵学校に送り出し、その数は戦前の旧制中学校では群を抜いていた。その中には、前々号で紹介した第2次世界大戦で敵兵422名を救助しながら、他にも語らず生涯を閉じた海軍中佐、工藤俊作などがいる。その先駆けともいえる退役海軍大尉曾根俊虎が、二つ返事で快く清を書生として東京に迎え入れてくれた。清は学問への要求と、兄から出ていた学費の負担がなくなることを安堵しながら、17歳の秋、布団を担ぎ徒歩で福島まで歩き東京行の列車に乗った。

河上清の誕生と カル・カワカミ

東京では慶應義塾において福沢諭吉に学んだが、曾根の事業失敗から曾根の元を離れざるを得なくなり、米沢旧藩主上杉茂憲邸に書生として移り、現在の中央大学である東京法学院に学んだ。ここで生涯の師であり友でもあった、後に立命館学長になる田島錦治と出会い社会主義思想に傾倒する。またこの頃、氏名を宮下雄七から河上清と改名した。兄民雄は清に徴兵から逃れさせ勉学に専念させるため、北海道で廃絶された河上家を再興させるというストーリーで戸籍を操作し、河上清を作り上げたのだ。当時北海道の在住者や、本籍がある者には兵役が免除されていたのだ。

しかし、そこで女中のハルと初恋に落ち、その結果両名とも上杉家を解雇となった。婚約者のいる娘を預かった上杉家が許さなかったのである。上杉家を出て下宿を探し、改めて青山学院に進み学長の本多庸一の元で英語を勉強し直した。この青学で思想家カール・マルクスに大きく傾倒し、カール・マルクスというニックネームを付けられた。清もこのあだ名が気に入り、後年アメリカで、キヨシ、カール・カワカミとミドルネームをマルクスにあやかって付けたのである。

ライターとして ジャーナリストへ

23才になった清は、僅かな蓄えも底を尽き、青学での勉学を打ち切らざるを得なかった。初めは、中学生向けの雑誌に記事を書いて文筆業としてのスタートを切った。その後米沢出身であり、尾崎紅葉等と、じつと、樋口一葉の全集を刊行した出版会社博文館の後継者、大橋乙羽に才能を認められ、様々な執筆を依頼された。最初は中学生向けのドイツ史から始まり、近代社会主義の歴史をテーマとした大作を書き上げた。また当時東京一の発行部数に達していた日刊新聞の「萬(よび)朝報」に投稿したのがきっかけで、その社主である黒岩周六に認められ、内村鑑三、幸徳秋水、内城寺天山、斎藤緑雨など、日本史に確たる足跡を残すであろう顔ぶれの記者の仲間になった。そして27才にして論説主幹の一人となり第一面の論壇で当時の総理大臣伊藤博文や大隈重信、板垣退助らをばっさばっさと切り捨てた。萬朝報で健筆を振る一方、キリスト教に傾倒し、連共産党の日本人幹部として日本共産党結成の要となった片山潜と出会い、社会主義政党的活動に打ち込んでゆくのである。

次号平成19年11月発行予定
「恋たより 24号」

～ K・K・カワカミ
嵐に立ち向かった国際ジャーナリスト～
Part II

継承略、
参考文献:「嵐に書く」
古森義久著、
講談社刊



鯉太郎の独り言

K・K・河上を知ったのは、奇しくも同年生まれの福島県出身の歴史学者のドキュメンタリー番組だった。10年ほど前福島放送が放映した「甦れ朝河賢一～日米開戦を阻止しようとした男」であった。この番組で朝河と同じ戦中もアメリカに滞在し、日米間の嵐に立ち向かい、疑惑と敵意の対象となりながらも何とか祖国を救おうとしたジャーナリストが米沢出身の河上清であったことを知ったのだ。その後同じジャーナリストの古森義久氏が、毎日新聞から清の一生を描いた「嵐に書く」を刊行していたことを知り、貪るように読み続け、そして体が震えるくらいの感動を覚えたのだ。恋たよりを発行するようになり、いつか河上清を取り上げようと思っていたが、ようやく機会が訪れた。ただ8年前の引越して、同書が見つからず、ようやく米沢市の図書館で文庫版を探し当てたが、10年経って読み返しても感動は変わらなかった。昨今日本人としてのレジデント(存在意義)が問われ、しばしば言われ無き恥辱を国際社会で受けているが、工藤俊作、河上清といった人物との出会いは、改めて心の底から日本人としての誇りを呼び戻させてくれた……。

誕生の地と家族

河上清は、明治6年(1873年)米沢に生まれた。本名宮下雄七。幼い頃に父母を亡くした清ら兄弟、姉の面倒を見る祖母は、清の学問の才能を見出し、孔子に始まる膨大な和漢の蔵書を読み聞かせた。清の父や祖父が下級武士でも、書物にこれほどの関心を持ったのは、苦しい財政の中でも学問や教育に懸命に力を注いできた上杉家の伝統の反映であった。祖母は家宝の日本刀を振り売って小学校に通わせた。兄の民雄はまだ十代の少年だったが、骨身を惜しまず働き、決して泣き言をこぼさず、自らの学業への思いを断つても、書を読むことを忘れた。そんな家族に支えられ、当初貧困のために2年遅れて小学校に入学したが、それでも卒業は同時で、最上位の成績で興譲館に進んだ。清は、祖母や兄、姉たちを心から敬っていた。兄からは責任と努力を、姉たちからは清潔と儉約を学んだ。赤貧にありながらも真っ直ぐに生きてこられたのも家族のおかげだ、と後に書いている。

英語から見る世界

清の生涯で初めて未知の世界への窓になったのは英語であった。その窓からのぞいた世界は、血をさわかせ胸を躍らせる冒険の新天地であった。小学校最終学年から学び、毎日2時間かけて通った興譲館では、クリーブランドというアメリカ人宣教師から学んだ。彼の教科書はP.パーラー著の「万国史」であったが、英語で書かれた古代文明からギリシャ、ローマ、はては大英帝国、フランス革命までの400ページのドラマを辞書を片手に1ヶ月間で読破した。そして清の一生を左右した小説「佳人奇遇」と出会う。作者は元会津藩士で白虎隊の生き残りであった東海散士こと柴田朗である。この物語はアメリカからイギリス、スペイン、中国、そして再びヨーロッパに舞台が戻る。世界を股に掛けた雄大なスケールの大国際ロマン小説であった。

お客様の声&弊社の改良

Q: 味が濃いし、150gで630円は少し高いかな?

なんと増量して、価格を下げました。(総一郎)

A: 塩分を控えめにし、170g入 600円(税込)に

Q: すじ肉の味は良いけど、煮崩れて見た目が良くない。

ずいぶん苦労したけど、やっと煮崩れなしで、尚且つすじまで柔らかく煮る方法を見つけました!

(調理部長 田中)

A: 煮方を工夫し、煮崩れを防ぎました。またすじの部分だけでなく、たっぷりお肉も入れました。

Q: 袋が透明じゃなくて、カシミたいにアルミの袋に入れて箱入りにならないの? それだとギフトやお土産にもなるのにね。

写真撮影も夜10時過ぎまでかかってしまい、デザインもたいぶん悩みましたが、お気に召しますか? 嬉しいです。(商品企画マネージャー 橋本)

A: ご要望に合わせて、一連の黒毛和牛シリーズの箱入りにしました。

牛すじごぼうが新しく生まれ変わりました!!

丁寧な仕事で余分な脂肪を取り除き、何度も何度も茹でておぼし丁寧に水洗いするのが美味しさの秘訣です。そして圧力鍋を使わずにトトロと弱火でじっくり煮込んだ牛すじは、ゼラチン質特有のふかふかの口当たりがたまりません。

このゼラチン質にたっぷりのコラーゲンが含まれています。コラーゲンは骨へのカルシウムの吸収を促し、免疫機能をアップする働きがあり、また美肌をつくるのにも効果があるといわれています。コラーゲンはサプリメントでも摂取出来ますが、食事で自然に摂ることに優るものはありません。また本品は肉もたっぷり付けていますので、旨味と柔らかさが違います。加えてコンニャクには整腸作用があり、ごぼうにも食物繊維がたっぷり含まれているため、食べて美味しい健康食といえます。

このように食物繊維が豊富で柔らかく煮上げたごぼうとの相性は抜群で、お互いの旨味を引き立て合います。丁寧な仕事と食材の相性が至福の肴とおかずを生むのです。

食べて美味しい! 食べて健康!

今回の特別価格

「牛すじごぼう」

170g入 1箱 600円(税込)

今回だけ 500円(税込)

もちろん添加物や化学調味料は一切使用しておりません!

イチオシのお召し上がり方

常温や温めても美味しいですが、冷蔵庫に6時間程入れて冷やしますと、ふかふかの煮ごぼうが出来て一層美味しくお召し上がりいただけます。



よねざわ耳より情報

紅葉狩りを楽しまながら 直江兼継公のふるさとを訪ねる旅

10月の中旬ローカル線の米坂線沿線は、一番の紅葉の見頃を迎えます。飯豊町から小国町を囲む飯豊朝日連峰の錦織の山々は、言葉を失うほどの絶景となります。この紅葉を見ながら特別貸切列車「ヨイフルトレイン「こがね」で、直江兼継公のふるさと上越、六日町を訪れる、JR東日本米沢駅長坂川さんのお奨めの旅です!

日時: 10月21日(日)~22日(月) 1泊2日4食
行程: 米沢駅~六日町駅/歓迎レモニー~魚の里ショッピング~六日町温泉(1泊)~与坂町~長岡駅~米沢駅
宿泊: 六日町温泉 豪族の館「龍言」(越後の庄屋や豪族の館を移築した1泊最低2万円を超える高級旅館)
旅費: 39,800円
問合せ: ビュープラザ米沢 tel. 0238-22-1132

鯉屋のニュース&こよみ

鯉甘煮の夕しが新くなります。

使い切りの1切用の小袋になります 10月12日~

今までの鯉甘煮の夕しは、Sサイズ(2切用)~Mサイズ(5切用)のチューブ入りのものでした。それを、お客様からのご要望を活かし、小分け使い切りタイプの10g入ゼニール袋に変えました。これからはとんとんリクエストお待ちしております!

＜川口そごう＞ 「南東北物産展」

場所: そごう川口店 9F催物会場
日時: 9月11日(火)~17日(月)7日間
アクセス: JR京浜東北線 川口駅東口
販売員: 本店店長 さっちゃんこと 渡部幸子が担当です

引換券をお持ちのお客様にプレゼントをご用意してお待ち申し上げます。

◆この恋たよりのお名前が入った封筒が引換券になります◆

恒例 10月12,13,14日(金)(土)(日) 秋のふれあい 恋まつりのお知らせ

今年も地元米沢のお客様対象のイベントとして本店で行う予定です。昨年は延べ2700人を超えるお客様にご来店いただきました。今年も大好評の「棒だら煮」「こごと煮」詰め放題、温泉ペア宿泊券、米沢牛などがその場で当たる大抽選会も行います。

編集後記

若い頃、バイク仲間とよく温泉に出かけていた事を思い出しました。出勤前、早朝の風が気持ちよく、自然に囲まれた露天風呂は最高!! 米沢八湯は全部行ったかな。時間の使い方が上手だったなあと思う。たまには、ゆっくりと時間を使いたいものです。最近超ハードな本を読みました。